

委員からの御意見等

※委員の皆様からいただいた御意見を要約したものです。

生活者の観点から、今後のまちづくりにおいて、どのようなことを重視すべき、又は留意すべきと考えますか？

- 人口減・少子高齢化に伴う対策として、二世帯、三世帯同居の推進及び母親が外に働きにいける様な施設を充実させる。
- 空き家、空き土地が増えるので、それらを再利用しやすくするルールが必要である。
- 縮小、寂しくなっていく方向で話が進んでいるが、人口の自然減少は仕方ないとしても、人が住みたくなるまち、人が集まるまちづくりという観点も大切である。
- コンパクトなまちづくりを推進していく中で、住んでいてウキウキ、ワクワク、誇りが持てるまちづくりは重要である。
- デザイン性の高いまちを創っていくことが大切で、素敵な建物を結ぶ道や街路樹などが、障害者や高齢者も移動しやすいようにデザインされていると住み心地が良くなる。
- 周南市の中心に人が集中する地区が必要である。「元気」と「活力」がないまちに、次の時代を創るエネルギーは生まれてこない。
- コンパクトシティは、大都市の良いところを取り入れることだと考える
- JR山陽本線の各駅を中心に、都市機能誘導区域や居住誘導区域を設定することが望ましい。
- 街の拠点や地域の拠点を中心にコンパクトに生活する。拠点には暮らしを支えるインフラを整備することが必要である。
- 高齢者の生活を考慮したコンパクトなまちづくりが重要である。
- 日常生活に必要な機能（都市拠点、地域拠点、生活拠点、既存集落）を公共交通で結び、子育て、健康、住環境、地域の文化を育む人に優しいまちづくりを進めるべきである。
- 効率的で魅力ある都市機能を集約していくことは重要な課題である。
- 高齢者に対する対応が重要である。車を運転することができない高齢者であっても容易に病院、商業施設に出向くことができることは、快適な生活に欠かせない。高齢者が居住地から徒歩、自転車、公共交通など誰でも容易に利用できる交通手段により、あまり長すぎない移動時間で各サービスを楽しむやすくしていくことを重視すべきである。

第2回周南市都市再生推進協議会で御提案した「まちづくりの理念（案）」と「基本方針（案）」について、修正点、意見、感想等を御記入ください。

- これから協議会で出た意見を反映して欲しい。
- 「コンパクトなまちづくり」は、今後本当に必要だと委員をして実感している。
- 総花的に見える。独自の狙いや特色を全面に出してほしい。
- メインテーマは、誰もがイメージできるような分かりやすい表現が良い。全市民が聞いたことがあるくらいに浸透させたい。
- 中山間地域への配慮は必要ではないか。
- 快適性、利便性の高い中心部と、自然や文化の豊かな地域とのメリハリをしっかりとつけた方がわかりやすい。
- 全体としてきれいな文言が多数並べてあるという印象がある。
- 現状把握、問題点、課題について、わかりやすくかみ砕いて表現した方が良い。
- 具体的な提言のようなものとセットにして、はじめて全体が見える。
- 「賑わい」という表現が使われているが、都市機能誘導区域にある程度の規模の商圈ができていく必要がある。この意味合いが「賑わい」という表現で理解されるかどうか。
- 「公共交通ネットワーク」という表現が使われているが、ネットワークだけでなく、公共交通のサービスレベルや各都市機能までの公共交通によるアクセスのしやすさも重要になってくるので、「交通サービス」のような表現にしてはどうか。